

地域コミュニティ協議会アンケート調査結果の概要

【No. 1】

設問	テーマ	回答者	設問	調査結果	スライド No
—	年齢分布	会長 部会長	-----	65歳以下の会長は2割、部会長は4割となっており、会長・部会長ともに66歳以上が中心となっている。	1
1	分野別取組状況	会長	協議会で取り組んでいる活動について、該当するものを <u>すべて</u> 選んでください。	多くの協議会がすべての分野に取り組んでいる。	2
2	プランの達成状況	会長 部会長	実施していると答えたコミュニティプランに掲げる活動について、達成度を分野ごとに自己評価してください。	<p>【全体】</p> <p>(分野別の比較)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度が高い分野：「安心安全・防犯」、「青少年健全育成」 ・達成度が低い分野：「文化」、「防災」 <p>(会長と部会長の比較)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「青少年健全育成」、「社会教育・生涯学習」、「地域活性化」の分野については達成度に対する認識の差が大きい。 <p>【協議会内における会長と部会長の認識の差】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「青少年健全育成」及び「社会教育・生涯学習」について、会長の達成度が高い（部会長の達成度が低い）傾向にある。 	3-13
3	今後の活動の方向性	会長 部会長	今後、協議会の活動をどのような方向性に進めていきたいですか。活動分野ごとに当てはまるものをすべて選んでください。 ※ 問1で実施していると答えた活動に加え、新たに始めようとする分野も含め、回答ください（選択肢「新たに始める」は会長のみ）。	<ul style="list-style-type: none"> ・会長と部会長の間に大きな差はみられなかった。 ・65歳以下と66歳以上で大きな差はみられなかった。 ・殆どの分野で「参加者を増やす」が最も多く、次いで「現状維持」、「質を高める」が多かった。一方、「関わる団体を増やす」、「財源を増やす」は少なかった。 	15-34
4	活動の広報	会長	協議会の活動について、どのように広報していますか（当てはまるものをすべて選択）。	紙媒体の広報誌を活用している協議会が多く、ホームページを活用している協議会は2割程度にとどまった。	35
5 6	アンケート実施状況	会長	協議会の活動について住民を対象にアンケートを行っていますか（当てはまるものをすべて選択）。また、アンケート <u>以外</u> の方法で住民の声を聞く取組みがあれば、教えてください（当てはまるものをすべて選択）。	プラン更新に併せてアンケートを行っている協議会が多い。また、アンケート以外にも各協議会において、様々な方法で住民の声を聞く取組みを行っている。	36-37
7	構成団体の特性を生かした活動	会長 部会長	構成団体の特性を生かした活動ができていると感じますか。	会長と部会長の間に大きな差はみられず、会長・部会長ともに7割が「できている」又は「概ねできている」と回答している。	38
8 9	構成団体との連携（うまくいかなかった・うまくいった例）	会長 部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・構成団体との連携がうまくいかなかった事例があれば、「活動内容」「構成団体名」「うまくいかなかった点」に触れながら教えてください。 ・構成団体との連携がうまくいった事例があれば、「活動内容」「構成団体名」「連携の方法及びその効果」に触れながら教えてください。 	<p>【うまくいかなかった例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡・調整の場がないことでコミュニケーションが十分にとれず、事業の棲み分けや参加協力に関する課題が見られる。 <p>【うまくいった例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成団体同士のコミュニケーションが取れており、互いの特性を生かした事業が好事例として多く紹介されている。 ・八幡校区コミュニティ協議会は構成団体が連絡・調整する場を部会とは別途設けており、構成団体同士のネットワーク強化に取り組んでいる。 	39-40
10	地域団体に関する把握状況	会長 部会長	校区内で地域活動に取り組む団体（まちおこしサークル、こども食堂、高齢者支援団体、NPO法人等）の情報を把握していますか。	会長の約8割が「把握している」又は「概ね把握している」と回答している一方で、部会長は「把握している」又は「概ね把握している」の回答が6割にとどまっている。	41
11	民間企業の参画（医療福祉以外）	会長	教育・医療福祉 <u>以外</u> の民間企業等が、構成団体として活躍している例があれば、その業種を教えてください。	建設業や農協の参画が多く、その他地域の不動産会社等の参画がみられた。	42

地域コミュニティ協議会アンケート調査結果の概要

【No. 2】

設問	テーマ	回答者	設問	調査結果	スライド No
12 13	構成団体数の変動と増えない要因	会長	・協議会発足以降、構成団体の数は変動していますか。 ・「1 減った」または「2 変わっていない」を選んだ方に伺います。増えていない（あえて増やしていない）原因（理由）を教えてください。	協議会設立以降、構成団体が増えた協議会は約2割にとどまっている。団体が増えていない原因としては「今の構成団体で十分」が最も多い。	43-44
14	市の施策への評価	会長	鹿児島市コミュニティビジョンに基づく、これまでの地域コミュニティづくりに関する鹿児島市の施策について、施策の内容ごとに評価してください。	「コーディネーターの育成」、「施設」、「各種情報提供」については満足度が高く、「意識啓発」、「会長や事務局の人材育成」、「構成団体の連携支援」については、相対的に満足度が低い傾向にあった。「補助金」については、満足度している声が多い一方で、「あまり満足していない」も一定数寄せられた。	45-52
15	市に期待する施策	会長	今後、これまで以上に鹿児島市に期待する施策を、最大3つまで選んでください（より期待するものから順に3つまで回答欄に番号を記入）。	「市民への意識啓発」、「リーダーの育成」、「補助金制度」を望む声が多い。	53
16	行政連絡業務の負担	会長	行政からの連絡業務のうち、負担に感じている業務をすべて選んでください。また、その依頼元も教えてください。	「特になし」が5割で最も多く、各依頼の種類もそれぞれ2割程度となっている。	54
17	協議会の課題	会長 部会長	協議会の運営と活動に関する課題を、最大3つまで選んでください（より大きな課題から順に3つまで回答欄に番号を記入）。また、それぞれの課題が起きる要因について教えてください。	・「後継者が育たない」が最も多く、「役員の負担が大きい」、「地域住民が無関心」が会長・部会長ともに多い。市に期待する施策として「市民への意識啓発」、「リーダーの育成」が望まれる背景には上記の課題に起因すると考えられる。 ・一方、市に期待する施策に「補助金制度」が多くみられたが、協議会の課題として「予算が少ない」を選ぶ協議会は限定的だった。 ・65歳以下と66歳以上で比較したが、その傾向に大きな差はみられなかった。	55-56
18 19	実施済の負担軽減と関心がある軽減策	会長	・運営の負担軽減の方法として、行事の見直しやICTの活用等が考えられます。次のうち既に取り組んでいるものをすべて選んでください。 ・運営の負担軽減策として、関心があるものを最大3つまで選んでください（より当てはまるものから順に3つまで回答欄に番号を記入）。	・実施済の負担軽減策は「行事の見直し」が最も多く、次いで「会議の見直し」、「LINEの活用」が多い。また、関心がある軽減策も同様の結果だった。 ・2割の協議会は負担軽減に関心がないと回答している。	57
20	ICTへの不安	会長	ICTの活用について、不安（課題）に感じていることを、最大3つまで選んでください（より当てはまるものから順に3つまで回答欄に番号を記入）。	9割の会長がICTの活用にあたり、何かしらの不安を感じている。	58
21	コーディネーターへの評価	会長	これまでの地域連携コーディネーターの支援体制について評価してください。	約8割が「満足している」又は「概ね満足している」と回答している。	59
22	コーディネーターに期待する役割	会長 部会長	今後、地域連携コーディネーターに期待する役割を、最大3つまで選んでください（より当てはまるものから順に3つまで回答欄に番号を記入）。	会長・部会長ともに現在も行っている「他の協議会に関する情報提供」や「コミュニティプラン更新の支援」が多く、現在は行っていない「イベント実施の支援」が次いで多かった。	60
23	協議会の現状に対する評価	会長 部会長	鹿児島市コミュニティビジョンでは、協議会の設立により、以下の内容の達成を目指しています。貴協議会の現状について、「住民参加」、「共助と連携」、「多様性と創造」の観点から自己評価してください。	・会長と部会長の間に大きな差はみられなかった。 ・会長・部会長ともに、「住民参加」、「共助と連携」については、約5割が「できた」又は「概ねできた」と回答しているのに対し、「多様性と創造（新たな取組の創出）」について、「できた」又は「概ねできた」と回答した割合は3割にとどまった。	61-63
24	活動の実施主体	会長	最後に、貴校区内における下記1～25の活動の実施主体について、活動の種類ごとに最も当てはまるものを選んでください。	多くの事業が、協議会と町内会で実施が分かれていたが、「各種講座」や「消防訓練」、「防災訓練」については、協議会と町内会がそれぞれ実施している協議会も一定数みられた。	65-89

問17. 協議会の課題発生要因（自由記述）に関する意見など

(1) 上位3つの課題

「後継者が育たない」、「役員の負担が大きい」、「地域住民の無関心」

(2) 各課題の起きる要因（自由記述）でみられるキーワード

課題	キーワード
後継者が育たない (役員のなり手不足)	参画しにくい組織運営、役員の輪番制、労働環境の変化、共働き、定年延長、組織の魅力不足、町内会で手一杯（負担が大きい）、対価不足、無関心、人口（若者）減少、少子高齢化、役員の固定化、若者が参加しない、価値観の変化、休日は家族と過ごす、子どもの小学校卒業と同時に関係が途切れる、
役員の負担が大きい	町内会役員との兼任、声をかける相手がいない、現役世代が参加しにくい、団体代表と兼任となる仕組み、行政からの押し付け、行事会合が多い、部会の活動が部会長まかせ、協力者不足、協議会が重荷になり構成団体の活動を抑制、文書作成、配布、人集め
地域住民が無関心	価値観の変化、面倒くさいイメージがある、時間に余裕がない、奉仕の心の薄れ、労働環境の変化、メリット不足、広報不足、民間サービスの充実、コミ協と町内会の違いが伝わらない、町内会未加入者が多い、企画力不足

(3) キーワードから見えてくる各課題の関係性

